

## 薬事法第77条の4の4の規定に基づく薬事・食品衛生審議会への 副作用・感染症等報告について

平成22年4月1日から平成22年7月31日までの報告受付分

### 1. 製造業者等からの医薬品等の副作用・感染症等報告(第77条の4の2第1項)

#### (1) 国内症例の報告状況

	副作用報告	感染症報告	
医療用医薬品報告例数(例)	11,256	20	(資料3-2)(資料3-4)
一般用医薬品報告例数(例)	80	-	(資料3-3)
合計	11,336	20	

#### (2) 外国症例の報告状況

	副作用報告	感染症報告
報告例数(例)	51,860	10

#### (3) 外国での新たな措置の報告状況

報告件数(件)	297	(資料3-5)
---------	-----	---------

#### (4) 研究報告の報告状況

報告件数(件)	378	(資料3-6)
---------	-----	---------

### 2. 医薬関係者からの医薬品の副作用・感染症報告(第77条の4の2第2項)

副作用・感染症報告例数(例)	1,291
新型インフルエンザ予防接種後 副反応報告例数(国産ワクチン)(例)	18
新型インフルエンザ予防接種後 副反応報告例数(輸入ワクチン)(例)	1
合計	1,310

#### 副作用・感染症報告の集計結果についての注意事項

- 副作用・感染症報告については、医薬品との因果関係が不明なものを含め製造業者等及び医薬関係者から報告されたものであり、個別に医薬品との関連性を評価したものではない。
- 副作用・感染症報告の件数については、平成22年4月1日～平成22年7月31日(以下、「本報告期間」という。)に提出された最新の報告書の件数を示したもので、同一の症例に複数の被疑薬が存在し、当該症例が複数の企業からそれぞれ報告された場合、重複してカウントしているため、ここに示された報告件数がそのまま症例数にはならない。
- 副作用・感染症報告の件数については、報告者が本報告期間中に報告した後に、追加情報により因果関係が否定され、本報告期間中に報告を取り下げた場合、件数から除外されている。
- 外国症例の報告及び医薬関係者からの報告の件数は、医療用医薬品と一般用医薬品の合計数である。
- 資料3-2、3-3の報告件数は、副作用名別の件数を示したものであり、1症例で複数の副作用を発現する場合があるので、報告件数を合計した数が報告症例数になる訳ではない。
- 資料3-2、3-3の副作用名は、用語の統一のため、ICH国際医薬用語集日本語版(MedDRA/J)に記載されている用語(PREFERRED TERM: 基本語)で表示している。
- 資料3-4の感染症報告については、報告症例ごとに、被疑薬及び感染症名を記載している。